

# “農のある暮らし”「飯能住まい」事業

— No.8 飯能市 —

## 【事業の目的】

飯能市の豊かな自然環境を享受しながら、ゆとりと潤いのある生活や地域の魅力を活かした良質な生活空間を創出することにより、移住定住や地域活性化を促進することを目的としています。

## 【事業の内容】

豊かな自然環境を生かし、生活の中で土にふれる機会をもてる“農のある暮らし”を特徴とした本市独自の移住制度として、“農のある暮らし”「飯能住まい」制度（以下「飯能住まい」という。）を行っています。

ゆとりと潤いのあるライフスタイルを実現するために、良好な自然に恵まれた環境の中に一戸建ての住宅を建設する「優良田園住宅制度」に、生活の中で土にふれる機会を提供する、本市独自の“農のある暮らし”を加味した移住制度です。

## 【事業年度】

平成 28 年度～現在

## 【予算額(千円)】

30,796 千円（平成 27 年度～令和 2 年度）

うち 1,556 千円（令和 2 年度）

## 【財源】

地方創生加速化交付金（国）、一般財源（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

飯能市は平成 26 年 5 月に日本創成会議人口問題検討分科会の試算から、消滅可能性都市の一つとして位置付けられたことから、市内において消滅可能性都市から発展都市へ向けた様々な政策の検討を開始しました。

その一つが「飯能住まい」であり、本市の定住人口増加策の柱の1つに位置付けています。

「飯能住まい」の対象地域は、都市計画区域内で、当時人口減少が著しかった南高麗地区を対象エリアとして、優良田園住宅の建設の促進に関する法律に基づく「飯能市優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針」を策定し実施しています。

## 【事業のPRポイント】

飯能市は西武池袋線飯能駅から池袋駅まで約40分と、東京都心への通勤圏にありながら、豊かな自然環境が魅力の1つとなっています。このような立地や魅力を生かし、仕事は変えずに、住まいの環境を変えられる移住先として、本制度での移住を支援しています。

また、本市への移住を検討している方は子育て世帯が多いため、0歳児おむつ無償化事業や中学生以下を対象とした子どもインフルエンザ予防接種費用無償化事業などの手厚い子育て支援策のほか、「飯能住まい」の対象地域にある南高麗小学校による農作業体験などの特色ある教育が、移住先として飯能市を選択する際の後押しとなっています。

加えて、本制度で移住された方に“農のある暮らし”を満喫していただけるよう、南高麗地区にお住まいの農業に精通した方を農業普及員として任命し、移住した方のニーズに応じた農業のサポート体制を整えています。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

平成28年4月の制度開始から令和2年3月1日までの約5年間で、30組97名の移住が決定しております。30組のうち、18組のご家族は既に住宅建設が完了し、南高麗地区での生活をスタートしており、移住者の増加に伴い、南高麗地区の人口は減少から増加に転じ、地域コミュニティの活性化が図られています。（参考資料：南高麗地区人口推移）

また、昨今のコロナ禍において、東京23区にお住まいの方を中心に移住相談件数が令和元年度に比べ6倍以上に増加し、東京都心からの移住先として「飯能住まい」への注目度が更に高まっています。

このような状況から、令和3年4月1日より、南高麗地区における「飯能住まい」のエリアを拡大し、更なる移住の促進と地域の活性化を図っていきます。

## 【参考資料】

- ・ 移住促進により増加傾向にある南高麗地区の人口



- ・ “農のある暮らし” 「飯能住まい」ポスタービジュアル



<https://youtu.be/PpaCc4GoKjo>

最新のプロモーション  
ムービーはこちらから！

〔 連絡先 〕

建設部まちづくり推進課 計画・移住・空き家対策担当  
042 (973) 2268 (直通)